

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月26日(土)③

担当部局・担当課名: 教育委員会生涯学習・文化財室

事業名	富山県教育記念館費	評価結果	抜本的改善
-----	-----------	------	-------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・「富山県教育記念館費」という事業名は、財団を支援しているのか、教育記念館を支援しているのか、あるいは事業を補助しているのか、非常に不明確。
- ・補助金ありきの事業に見える。意義や成果を明確に説明できるようにすべき。
- ・民間と協働すれば様々な工夫ができるのではないか。
- ・科学オリンピックも含めて事業を整理すべき。
- ・財団として、いろんな学校や公民館等に出向いて事業を実施するのも、存在を知ってもらうという意味では有効。

【県民評価者の意見】

特になし

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	14
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
		3	0	8	3
県民評価者の 主なコメント	評価結果と 同じ評価	【抜本的改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容がマンネリ化していることが気になった。事業内容を見直すべき。 ・資金が効率的に使われていない。 			
	上記以外	【行政の関与不要】 <ul style="list-style-type: none"> ・予算の定めた内容・用途が分かりづらい。 【一部改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・教育記念館の存在や事業が県民に広く周知されていないことが一番の課題。教育事業は競争になじまない。成果が公表されないと無駄な事業と思われる。 			

【参考】委員による評価

委員総数	4
------	---

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
		1	0	3	0

事業名	富山県教育記念館費	評価結果	抜本的改善
------------	-----------	-------------	-------

【県の対応】

今後の 対応方針	抜本的改善	事業内容の見直し			
	○補助事業名を支援先や支援事業がわかる名称に変更するとともに、県事業との類似性を整理した補助対象事業に見直し、これまで対象としていた「高校生とことん科学セミナー」開催事業を対象外とする。 ○また、財団から補助金交付申請時に提出させる事業計画書には、事業目標を記載するとともに、実績報告時にその成果が見える化する。				
令和6年度 当初予算 での対応	R6当初予算 (要求額)	14,358(千円)	R5当初予算	14,539(千円)	増減額 ▲181(千円)
	増減理由	補助対象事業の見直しによる減			

当初予算編成プロセスの見える化

令和6 年度 当初 予算	要求 状況	要求額	14,358(千円)	前年度予算額	14,539(千円)	
		事業の目的	(公財)富山県ひとづくり財団が実施する創造性豊かな人づくりに関する事業及び教育の振興発展に資するための事業を支援			
		事業内容	【富山県ひとづくり財団教育振興事業費補助金】 ○補助対象事業 ①創造性豊かな子ども育成事業 ・夢の卵育成事業 ※専門家のもとへの派遣者数の増を想定 ・きらめき未来塾事業 ※講座内容の改善及び効果的な周知による応募者の拡大 ・ロボットづくり教室開催事業 ・子どもたちの生きる力を育む起業家教育推進事業 ※民間団体と協働で実施 ②元気な地域づくり事業 ・学ぼう！ふるさと未来支援事業 ・富山県をよくする会支援事業 ・機関誌発行事業 ③教育記念館事業 ・教育記念館展示事業 ※校外学習の受入を促進すべく、学校関係者に対し財団事業の周知を強化 ・とやまの教育資料収集・調査事業 ※官民協働レビューにおける指摘を踏まえ、事業名を変更するとともに、対象事業を見直し「高校生とことん科学セミナー」開催事業を対象外とする。(財団においても補助事業内容の見直しを実施)			
		積算内訳	①2,575千円、②1,051千円、③10,732千円			
	予算編成過程における議論	レビューにおける意見を踏まえ、補助対象事業を見直すなど、適切な見直しが行われている。				
	最終的な 予算案	予算額	14,358千円	/		
	要求時点からの変更点	変更なし				